

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和3年4月14日

提出区分	実績	整理番号	2	課題区分	C		
横断的な課題	北アルプス山麓地域ならではの生き生きとした暮らし方・働き方の提案や仕組みづくりによる人口定着・人材確保への挑戦						
地域重点政策	<4>北アルプス地域を選び、生き生きと活動できる地域づくり					北アルプス地域振興局	
実施機関	北アルプス地域振興局			担当課	所属	企画振興課	北アルプス農業農村支援センター
事業名	北アルプス地域「農ある暮らし」推進事業				電話	0261-23-6501	0261-23-6510
					E-mail	kitachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp	kita-aec@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	「田舎暮らし」や、「農ある暮らし」への志向が高まる中、農に関心を持つ移住希望者等や定年帰農者等地域住民の「農ある暮らし」をサポートし、こうした取組を北アルプス地域の魅力として情報発信することで、移住者など地域に人を呼び込むことを目指す。					
	現状と課題	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市住民の田舎暮らし、農ある暮らし志向の高まり ・移住専門誌「移住したい都道府県ランキング14年連続第1位」 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野県の中で移住者からいかに「北アルプス地域」が選ばれるか ・各自自治体の移住施策の固定化 ・「農」を求める人々を増やし、「農」に関わる人々をどう支援するのか 					
	内容 (変更後の内容)	<p>農ある暮らしサポート直売所設置事業</p> <p>○実施場所:JA大北農産物直売所「ええっこの里」</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①栽培技術等に関するサポート(相談対応) ②野菜づくり研修会等の開催(事例紹介動画の作成) ③移住・観光情報の提供(北アルプス地域移住・観光インフォメーション) <p>*県とJAの協定に基づく取組として、県現地機関と大北農業協同組合で連携して実施</p>					
	事業期間	令和2年4月			～	令和3年3月	
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考			
	北アルプス地域農ある暮らしサポート直売所設置事業	北アルプス地域農ある暮らしサポート直売所設置	249,940	業務委託費、広報用チラシ作成費、動画撮影経費			
	合計		249,940				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	サポート(相談対応)年間件数		60件以上	7件	○ 達成		
	野菜づくり研修会等の延べ参加者数		50人以上	447回 (動画再生回数)	● 一部達成		
					○ 未達成		
事業実績・成果	<p>1 栽培技術等に関するサポート(相談対応)実績件数 相談件数:7件 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言等により、例年より直売所を訪れる客数は減少し、相談件数も昨年度より減少した。事例紹介動画の中で本事業の紹介したり、信濃大町駅に新たに本事業のリーフレットを配置したりするなど、北アルプス地域のサポート体制を積極的に外部に周知した。</p> <p>2 野菜づくり研修会等の開催状況(事例紹介動画の作成) 再生回数:447回 コロナ禍により、野菜づくり研修会は開催を中止し、地域の魅力的な農産物を題材に農ある暮らしの事例紹介動画を作成し、北アルプス地域の魅力発信を行った。</p> <p>3 移住・観光情報の提供状況 緊急事態宣言が出ていなかった時期は、多くの観光客がパンフレット等を持っていかれ、北アルプス地域のアピールにつながった。</p>						
	今後の方向性	コロナ禍での「地方回帰」の流れを捉え、北アルプス地域のファンを増やすため、当地域で実践できる魅力ある「農ある暮らし」のライフスタイルを今後も発信していく。					